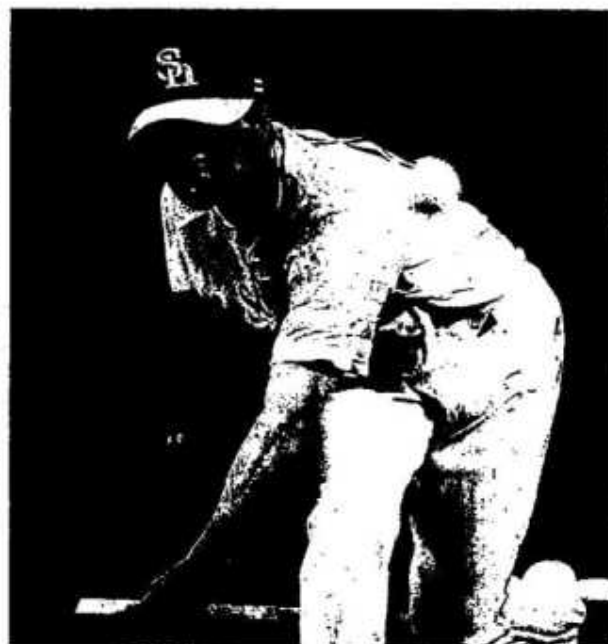


新監督に贈る14K完封



開幕戦で14三振を奪って完封勝利を挙げた和田(2009年4月3日、ヤフードーム)

プレーバック!

開幕戦

11年も前の試合を、ソフトバンクの和田毅は今でもはっきり覚えている。2009年4月3日、ヤフードーム(現ペイペイドーム)。

ソフトバンク―オリックス

(2009年4月3日)

ソフトバンク8―0オリックス。ソフトバンクは、3安打5打点をマークした4番松中の活躍などを序盤からリードを広げると、和田が14三振の完封劇を123球でまとめ、秋山新監督の初陣を快勝で飾った。オリックスは先発小松が固れ、4年ぶりの開幕戦黒星。

プロ7年目の左腕は、05年以来2度目の開幕マウンドに立っていた。

対するオリックスは、中軸にカブレラ、ローズ、フェルナンデスが並ぶ強力打線。ただ、怖さは全く感じなかったという。直球の球速は140km前後のことが多いが、この日は「思い切

り腕を振らなくても、140km台半ば。真つすぐで空振りが取れ、チェンジアップも低めに決まった。何を投げても三振が取れる、不思議な感覚だった」。

終盤まで球威も切れも衰えず、七回から八回にかけて4者連続三振。九回は最後の打者カブレラから、2リーグ制以降の開幕戦最多記録に並ぶ14個目の三振を奪い、被安打3で完封勝利

1	2	3	4	5	6	7	8	9
本多	川崎	松田	松中	小久保	アギーラ	柴原	中西	高谷
和田	和田	和田	和田	和田	和田	和田	和田	和田

ソフトバンクの2009年開幕オーダー

開幕戦の奪三振上位記録(2リーグ制以降)

数	年月日	選手	相手	勝敗
14	1958年4月5日	※金田正一(国鉄)	巨人	○完投
	1979年4月7日	平松政次(大洋)	ヤクルト	○完封
	2009年4月3日	和田毅(ソフトバンク)	オリックス	○完封
13	2010年3月20日	ダルビッシュ有(日本ハム)	ソフトバンク	●完投

※は延長11回での記録。国鉄は現ヤクルト、大洋は現DeNA

を挙げた。

「あれほどはまった投球ができたのは数えるほど。ベストもベストの試合」と振り返る。好投につながった技術的な要因は今でも分からないが、燃える理由があったのは間違いない。

開幕前の2月に行われたワールド・ベースボール・クラシック(WBC)日本代表の最終選考で、チームメートの松中信彦とともに落選。気落ちしてキャンプ宿舎に戻った2人を食事に誘って励ましてくれたのが、王貞治から監督を引き継いだばかりの秋山幸二だった。

和田は言う。「代表から外れた悔しさもあったし、08年は最下位だったので、秋山さんの初陣は(レギュラーシーズンの)144分の1の試合ではなかった。そして、ちょうど4月3日は妻の誕生日。絶対に勝つ、いい投球をしてやるという思いが重かった」

39歳になった今、「あんな投球はもう無理」と笑う。それでも、緊張感に包まれる中、相手エースと投げ合う開幕戦の醍醐味に魅了されるのは、今も変わらない。

(崎田良介、敬称略)

オランダに続き、フランスも4月28日まで今季サッカーリーグの打ち切りを決めた。当てにした入場料やスポンサー収入、放映権料などがそれぞれどれほどの減収になるのか。どのリーグ、クラブも戦々恐々と注視していることだろう。

コロナ禍に直撃された今回あらためて感じるのは、どのクラブも、帳尻合わせに苦労していることだ。欧州大手とJ3のクラブでは経営規模に天と地ほどの開きはあるが、入ってくるカネを使い切る構造に大差はない。日銭が頼りの懐具合に弾力性は乏しく、今回

アザ＝ビュー 武智 幸徳

のよう
に興行を止められると、どこもかしこも慌てふためくことになる。

あるJクラブ関係者にそんな嘆きを伝えると、「有事に備えて内部留保を蓄えられたらいいが、無能、ケチのレッテルを貼られかねない」と一笑に付された。例えば、有力選手を手放して得た移籍金は、別の有力選手や有望な若手の獲得資金に回すのは当然のこと。シーズン中の移籍やケガによる離脱といった不測の事態に備え、余分に戦力を抱える必要もある。

そもそも「ファン、サポーターは順位はそこそこいいから黒字を出し

クラブ経営 魔性の魅力

て、なんて願っていない」。求めるのは優良経営より優勝しうる経営。そんな競争に拍車をかけるように、上位に行くほど欧州チャンピオンズリーグ出場などの恩恵を受ける、富の分配システムも用意されている。

破綻の危機に直面する度に、欧州の有名クラブはパトロンを取り換えて生き延びてきた歴史がある。ロシア、中東、米國や中国の大富豪たちだ。

裏返すと、クラブ経営のプレーヤーになることは、世界中のお大尽をひきつけてやまない魔性の魅力があるのだろう。

今回のピンチの先行きは不透明だが、新型コロナの終息後、まだ見ぬ、資金豊富なプレーヤーの登場を促すことは確かな気がしている。

問題はその他大勢のクラブや選手の救済だ。この先も、別の新たなウイルスによって活動停止に追い込まれるリスクを考えると、大陸連盟や協会、リーグが連携して非常時の救済資金を自らプールするくらいの方策は制度化してほしいもの。

そうでもしないと、巨額の移籍金で選手を動かして、高給で選手を抱える一方で、「カネがない」と叫んでも共感を得られないのではないか。

10年サッカーW杯カメルーン戦

俺たちはヘタ 居直った日本



日本カメルーンの前半、先制のゴールを決める本田(2010年6月) 共同

語り継がれる 名勝負

世紀のアップセット③

3週間で堅守速攻に改造

サッカー2010年W杯のカメルーン戦、国外開催のW杯で日本が初白星を飾ったこの試合の会場は、標高1400mの地ブルームフォンテン。大会前のスイス合宿で高海拔順化に努めた日本のコンディションの勝利でもあった。総走行距離は日本が109.940m、カメルーンが102.668m。1次リーグ3試合を通じ、日本の走行距離は出場32チーム中2位だった。

月、ろから主力の選手が悪く、気になっていた。中村俊が象徴するパスサッカーを捨て、速攻に活路を求める守りのチームが、たった3週間の短い工期でできあがった。カメルーン戦の39分、左足クロスで本田をアシストしたのは、中村俊の代わりに右サイドに入った松井大輔だった。新ボストの中盤アンカーに座った阿部勇樹は中沢佑二、田中マルクス闘莉王の両CBとともに日本の守備を安定させ、機転正剛に代わったGK川島永嗣も終盤の好守で勝ち点3を動かぬものにした。大会前の不慣れと無定見にさえ思えた激進なスタイル変更は、むしろ選手を結束させた。「俺たちはヘタクソ。ヘタクソなりに泥臭く」と闘莉王は仲間を叱咤(じった)した。評判を損じ、信じてきた戦い方を放棄してまで勝利に執着した彼らだからこそ、本番で無私の献身を貫いた。

1人だけ、異分子がいた。大会のヒーローになった本田だ。「何を要えるの?」

「ツーンテンジャック」というトランプゲームがある。それぞれ点数の異なる札を集めて総得点を競うこの遊戯には、マイナスの札をすべて集めると得点がまるごとプラスと転ぶという「願シル」が用意されている。サッカーの2010年ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会で16強入りした日本代表も、そんな勝負逆転のドラマを演じたチームだった。

同年6月14日、日本はカメルーンとの初戦を1-0で制した。得点者は前日に24歳になった本田圭佑だ。やがて日本人最多のW杯計4得点を挙げ、前もイングリッドとコー、トジボワールに連敗し、マイナスの札を集めるだけ集めた帳がある。オランダとの第2戦は敗れたが、鋭くアンマク戦は本田と遠藤保仁のチーム改造が進んでいた。FKなど3得点で勝利した。大きな変更点は、すつつと中軸だった中村俊輔の先発落ちとMF本田の1トップ起用。それを決断した監督の岡田武史が「かませ犬」たちの遊戯が列島を熱狂させた。やったことじゃない。2

(岡田武史)

金の系譜

番外編

1964年
10月21日、沿道を埋め尽くす人波。すばかりか、家屋の屋根や街路樹、電柱にまでよじ登る者も。目撃者

り、東京五輪の男子マラソンを一目見ようと駆けつけた観衆の数は約1万5千人。目当ての一人は何と言っても、五輪史上初のマラソン連覇に挑んだ「ハダシの英雄」アベベ・ビキラだった。

1964年 東京五輪

男子マラソン

- 金 **アベベ・ビキラ** (エチオピア) 2時間12分11秒2 =世界最高
- 銀 **ヒートリー** (英) 2時間16分19秒2
- 銅 **円谷 幸吉** (日本) 2時間16分22秒8

ハダシの英雄 悠々連覇



東京五輪の男子マラソン連覇で、両手を上げ祝ったアベベ。連覇のアベベ・ビキラ(中央)、2位のヒートリー(左)と3位の円谷幸吉(右)が、アベベのゴールを祝った。

名の存在だった。ところが、エチオピア皇帝の近衛兵を務める28歳は、石畳のアッピア街道を含む難コースをほだしで走りきり、当時の世界最高記録を1秒更新する任務の走りを披露。母国に初の五輪金メダルをもたらすことにも、「走れと言われれば、もう20分くらいは走れるよ」という衝撃の発言で、世界を驚かせた。

4年後の東京五輪は、大会の約1か月前に盲腸を手術。一時は出場さえ危ぶまれたが、今度は真っ白な襦袢を纏いてスタートした王者に心配は無用だった。16分過ぎで飛び出すと、独走状態を築いた。円谷幸吉がヒートリー(英)と国立競技場のゴール直前でデッドヒートを繰り広げる4分以上前には、悠々と連覇を決めるゴールテープを切り、2時間12分11秒2の当時世界最高記録を樹立。改めて「超人」ぶりを見せつけた。

当時小学2年の日本陸連・瀬古利彦マラソン強化戦略プロジェクトリーダーは「他の選手はゴールして次々倒れて

るのに、アベベはすぐ柔軟体操なんか始めちゃって『ええっ、なんだこの人！』って驚いた」と懐かしむ。表彰台に立った円谷はもちろん、アベベは半世紀以上経く日本のマラソン人気の火付け役となった。

88年メキシコ五輪を途中棄権後、翌年自動車事故で半身不随となり、73年に41歳で早世。恵まれた晩年ではなかったが、二つの金メダルとともに世界に残した鮮烈な記憶は、いつまでも色あせない。

(西口大地)

日本サッカー協会会長 田嶋 幸三氏

サッカー文化 守る砦に



田嶋氏は「苦境にあってもクラブや団体を支え抜く」と力を込める

たしま・こうせう 1957年11月、熊本県生まれ。筑波大在学時から日本代表に選ばれ、80年から古河電工でプレーした。引退後はケルン体育大へ進学、筑波大助教授を務め、2006年から日本サッカー協会専務理事。16年3月に3期会長に就任。18、20年と再任して4期目を迎える。日本オリンピック委員会副会長、国際サッカー連盟理事。

「借金してでも」

迅速対応へ覚悟

スポーツのある日常を奪い去ろうとする新型コロナウイルスに對して、日本サッカー協会の田嶋幸三会長は「我々が最後の砦(とりで)となってサッカー文化を守り抜く」と覚悟を表明。リーグやなでしこリーグなど各団体が苦境に陥るなか、借金をしてでも支え抜くべき覚悟を語った。

スポーツ再興 ウイルスに負けない

「懸念に似た申請が、連日20件近くも届く。今はまず、目の前で起きている火事をしっかりと消すことだ。もしも雨クラ

ブが半分に残り、クラブのいくつかが欠けたとしたら、再び取り戻すにはものすごい労力と資金が必要になる。大損失を避けるにはスピード感をもちて対応しなければ」

ものも我々が支援する。並大抵の前では収まらないだろう。協会には相当額の助がせるキャッシュがあるが、収入源である代表戦も行えないなか、我々も来年はどうなるかわからない。それでも、足りないなら借金をしてでも思っている」

「そしてサッカー界、スポーツ界の復興のためにも、リーグが再開できることが重要だと考えている」

「ドインなど各団体のリーグは再開へ向かっていくが、一筋縄ではいかない。選手の検査はどうす

その方、選手を守り、感染も広げず開催するにはどうすればいいか、協会もリーグと一緒に考えていく」

「リーグが止まるというのでは、スポーツ振興くじ(サッカーくじ)事業も止まるというのと、サッカーくじ収入は、日本オリンピック委員会(JOC)も含めてスポーツ界全体を支えている。強化費といえども自ら捻出できる競技団体は多くな、東京五輪の延期で膨らむ経費をどうまかなうかも、サッカーくじ財源に頼る部分は大きいだろう。その意味でもリーグ再開へサポートすべきだ」

「我々はアジアや高層者の随々の大会を手厚くしている。国民の健康に對してサッカー界がどう寄与できるか、今後は非常に重要になる。サッカーや、スポーツがあることで人々がより健康になれる。そのことをモチベーションにすれば」

「ビジネスの力、莫大な放映権などで我々は成長してきた。だが、スポーツを通じて楽しんでほしい。借金になってもいい。借金になってもいい。借金をしてでも、社会が何かと頼小ムードに傾きがち

の拡大だけでなく、本質との同時進行で進むこと。コロナ禍で気づかされた教訓のよう(田嶋)」

「案の前で少年がボール一つでリフティングしている。ひとりでも体を動かしたがる。外に出場会でもそんな光景に出会った。コロナ後もスポーツは重要であり続けると信じている。社会が何かと頼小ムードに傾きがち

だとしても、ショッピング(取替)ばかりがいいとは思わない。こういう時は、生活に華をもたらしたい。サッカー協会は来年で創設100周年。日本中の子どもへサッカーボールを配る。そのくらいの高意気度で社会に還元していきたい」

田嶋幸三は原名直文

— 稲野博哉

藤田寛之

福田正博

川内優輝

仁志敏久

大神雄子

スポーツピア

7/2 号

「侍ジャパンU12」に関わって、今年で7年目になる。1期目の子供たちは今年高校3年生。高校最後の年であり、ドラフトに関わる年でもある。子供たちの成長も、指導する楽しみだといえる。

U12は、国

泣ける子供は強くなる

大会のために毎年つくられる12歳以下の日本代表チームだ。軟式球で行うアジア選手権と、硬式球で行うワールドカップが、隔年で交互に開催され、昨年はワールドカップが台湾で開催された。

3度目の挑戦。過去2回は6位、4位。野球スタイルや世界の子供たちとの体格の違いで、なかなかいい結果が残

せなかった。今度こそ、と臨んだ大会だった。予選を全勝で勝ち上がり、準決勝リーグであるスーパーラウンドも勝ち上がった。いよいよ決勝。相手はアジアの宿敵台湾。U12の試合といっても、代表チームの試合となれば球場は満員になる。以前はプロが使う球場でも満員になっていったほどだ。新しい少

年野球場はスタンドが小さめだが、千人くらいは入る。大歓声で始まった試合はハナから劣勢になった。この大会に向け、チームづくりの時間をかけ、辛い練習に耐えてきた台湾は厚い壁だった。U12の試合は6イニング。先行され、追加点を許してしまえば、あっといふ間だ。終

成とはいかなかった。泣き崩れる選手に声を掛けながら閉会式に整列した。その中に、表彰が終わってもまだ泣いている子がいた。「いつまで泣いてるんだ」と微笑みながら声をかけたが実は内心うれしかった。中には負けても、ミスしても、時間がたてばいつもの大騒ぎ、という子もいる。負けた

試合は取り戻せない、と思えばこそ、悔しく、涙も出るのだ。実力を発揮できなかったことや、相手が上だと認めなければいけない現実。怒りや落胆、失望、あらゆる負の向かい風に襲われる。負けず嫌いであればあるほど、その風速は強い。それを感じられる子はこれからきっと強くなっている。

(野球解説者)

2016年リオデジャネイロ五輪

ゴルフ女子	最終成績
金 朴仁妃(韓国)	-16
銀 リディア・コー(ニュージーランド)	-11
銅 フォン・シャンシャン(中国)	-10

金の系譜

番外編

「朴セリキッズ」期待通り

7/2 記者

112年ぶりに、ゴルフが五輪競技に復活した2016年リオデジャネイロ大会。当時流行したシカ熱や治安への不安を理由にトッ

ププロの辞退者が相次いだ男子に対し、女子は世界ランキング上位者が顔をそろえた。男女間で大会の権威

や賞金には差があり、女子選手は「国を代表して戦うのは名誉なこと」と、五輪に対し高い意欲を持って出場。米ツアーを席巻する韓国勢は最多の4人を送り込んだ。

その中心にいたのが、米で12、13年に連続賞金女王となった朴仁妃だ。母国の期待は相応だったという。

「注目され続け、毎日がメジャーの最終日のような感覚に陥った」。指を痛めた影響で、開幕前の大会で予選落ちの不振。だが大舞台に立つと、強さは際立っていた。

2日目に首位に立ち、迎えた8月20日の最終日。3番からの3連続パーディーで同組のリディア・コー(ニュージーランド)に重

圧をかける。18番は1・7手の天に突き上げた。5打目のパーパットを沈め、両差の圧勝だった。



リオデジャネイロ五輪で、ゴルフの女子を制した朴仁妃＝A P

28歳の新メダリストに駆け寄り、涙したのは韓国女子代表の朴セリ監督だった。1998年に20歳でメジャー2勝を挙げた先駆者であり、その10年後に全米女子オープンを制した朴仁妃はその背中を追いかけた「セリキッズ」の旗手だ。「監督は選手が必要とするものを熟知し、支えてくれる存在」。食事の用意から心のケアまで、母国の星が寄り添って重荷を取り除いた。

昨年8月、朴セリは東京五輪会場となる埼玉・霞ヶ関CCにいた。テスト大会を視察し、コースを歩いて日本の暑さも体感。リオ五輪の「再現を狙う」と語った。現在凍結中の世界ランクで11位の朴仁妃は五輪出場圏外の韓国勢5番手にいる。競争の激しさが韓国女子にさらなる隆盛をもたらしている。

(勝俣智子)

鳥の目 虫の目

川島 健司

4/12 誌毛

新型コロナウイルスへの感染が峠を越えた国で、スポーツが動き出してきた。サッカー界では、韓国のKリーグが約2か月遅れで8日に始まり、ドイツでは16日にリーグを再開する予定だ。ただし、どちらも当面は無観客での開催になる。人が多く集まる所ほど、危険が高まる。感染症の厄介なところだが、その典型が五輪・パラリンピック、特に選手村だろう。東京五輪でいえば33競技、1万1000を超す選手の多くが

五輪延期 費用は誰が

共に過ごす「大会の心臓が脈打つ場所」（国際オリンピック委員会＝IOC＝のトーマス・バッハ会長）だ。

単独競技の国際大会にはないこの選手村の存在が、五輪を五輪たらしめているが、もし大会開催中にここで感染者が出たら、どうなるかは想像がつく。だからこそ、IOCも日本側も大会の1年延期で合意したはずだ。ところが、それに伴う費用の負担について、両者の思惑の違いが目立つ。

先月20日、IOCは「安倍首相が、割り当てられた費用を日本が負担すること」に合意した」と公式サイトで発表した。日本側が「そうした事実はない」と削除を求めると、「IOCと日本側が共同で、延期によっ

て生じる影響について評価と議論を進めていく」と文章を書き直した。数千億円とされる延期による経費増の責任は取りたくないというIOC側の本音がのぞく。

だが、こんなやり方がIOCのためになるとは思えない。大会延期という五輪初の危機をどう乗り越えるか、世界中が注目している。開催都市契約によれば日本側が負担するのが筋なのだろうが、今後起こるかもしれない新たな感染症の恐ろしさを誰もが知った今、IOCが開催都市と手を取り合い、痛みも引き受ける姿勢を見せなければ、五輪招致に手を挙げようという都市は、いよいよよまなくなってしまうのではないか。

(編集委員)



動画で「人間、辛抱だ」と呼び掛ける新大関の朝乃山（日本相撲協会の公式ツイッターから）。

今こそ「人間、辛抱だ！」

名セリフ 関取衆が呼びかけ

人間、辛抱だ……。古くからの相撲ファンにとって懐かしく感じるフレーズが日本相撲協会の公式ツイッターに登場した。

新型コロナウイルスの感染予防を目的に、関取衆が動画を投稿。新大関の朝乃山、大関貴景勝らが次々と登場し、腕組みをしながら「人間、辛抱だ！」と外出自粛を呼び掛けた。この一言、「土俵の鬼」と呼ばれた元横綱初代若乃花と元大関貴ノ花の兄弟が1970年代に共演したテレビCMで一躍有名になったセリフ。40年以上の時を経て、久々に相撲界に復活した形だ。

動画は「井おうち時間」「井うちで過ごそう」といったハッシュタグつきで投稿。横綱鶴竜らが「ステイホーム！」と呼び掛ける動画も公開された。

無観客 挑戦であり試練

サッカーのドイツ1部、2部リーグが16日から無観客で再開するという。韓国、プロ野球やサッカーのKリーグはすでに無観客で開幕した。世界に先駆けて4月に公式戦を開始した台湾のプロ野球は8日から1試合1000人限定で観客を入れるようになった。

新型コロナウイルスの影響で壊滅状態の世界のスポーツ界にも徐々に復活の動きがある。日本のプロ野球は6月後半の開幕を目標とした。Jリーグも再開の道を探っている。どちらもまずは無観客での開催となるのは間違いないだろう。

少し前のめりすぎではないかと感じる。大勢の観客の前での試合が当たり前の人気スポーツにとっては新たな挑戦であり試練となる。

スポーツの力

放映権料が入るから無観客でも試合をやりたいと考
客でも試合をやりたいと考
えてしまいが、球団やクラ
プによって事情は違う。自
前のスタジアムを持たない
チームは施設使用料もばか
にならない。東京ドームを
無観客試合で使ったらいく
らかかるのだろうか。

入場料だけでなく、飲食
やグッズ販売も期待できな
い。スタジアムに設置する
看板広告料も値下げが必要
かもしれない。大幅な減収
が現実な状況で、感染リス
クにさらされる選手への報
酬をどうするかなどの難題
も控えている。

試合の価値が保てるかと
いう根本的な課題もある。
どんなにレベルの高い戦い
でもスタンドが閑散として
いたら興奮できない。ファ
ンやサポーターが発散する
エネルギーとの相乗効果に
よってスポーツの価値は飛
躍的に高まるものだ。

スポンサーから資金が入
り、ネットで全ての試合が
ライブ中継される時代で
も、スポーツビジネスの原
点は、ファンやサポーター
で満員のスタジアムやアリ
ーナを目指すことにある。

短期間で通常開催に戻せ
ればいいが、無観客が長期
化するようになったら、そ
れこそプロスポーツとして
の価値を損ないかねない。
冷静に状況を考えれば、
今はスポーツどころではな
いと多くの人々が感じてい
る。スポーツ界の都合で再
び感染が広がったら取り返
しがつかない。無観客での
開幕、再開は避けられない
としても、スポーツが社会
に必要とされる時期が戻る
のを焦らずに待ちたい。

（編集委員 北川和徳）

1番由伸 初回初球弾

プレバツク! 開幕戦

わずかに数秒のため、2週間近く考え続けたという。巨人の前監督、高橋由伸には現役時代、そんな打席があった。2007年3月30日、プロで初めて1番で迎えた開幕戦のことだ。

プレーボール直後の初球、横浜(現DeNA)のエース三浦大輔の変化球を豪快に振り抜いた。打球は横浜スタジアムの右翼席中段へ届き、開幕戦ではセ・リーグ史上初となる初球を打った先頭打者本塁打に。狙い球を完璧に仕留め、興奮気味に右手を突き上げた。

「あんなに1打席目のことを考えたのは初めて」。13年前の初球打ちをそう振り返る。

横浜一巨人 (2007年3月30日)

巨人3-2横浜 巨人が高橋、李承燦、ゴンザレスの本塁打で挙げた3点を内海-林-豊田のリレーで守り切った。この年、高橋は115試合で1番打者を務め、前年は13人が務めた打線の置き所を解消。1番打者の打率は2割2分9厘から3割1厘に向上した。



初回の初球を捉え、先頭打者本塁打を放った高橋由伸(2007年3月30日、横浜スタジアムで)

3月中旬、監督の原辰徳に「開幕1番」を告げられた。重擔打線の先導役だが、「自分のスタイルを変える必要はない」とも言われた。開幕戦の初球は1年の1球目だ。そんなチー

ムの第一歩を背負いつつ、積極的に仕掛ける自分の打撃をいかに貫くか。「見逃すのはやはり消極的だ」。悩んだ末、まずは初球を打ちに行く覚悟を定めた。問題はさう狙うかだ。

巨人の2007年開幕オーダー

1	(右)	高橋由伸
2	(右)	谷 佳 人
3	(三)	小笠原 大
4	(一)	李承燦
5	(二)	ゴンザレス
6	捕	阿部 浩 二
7	遊	小坂 大 輔
8	中	鈴木 尚 平
9	内	内海 洋 平

チームの第一歩目は、「たとえアウトでも内容は良くしたい」。くそボールの空振りや、当たり損ねの凡打は最悪だ。狙いを絞るため、来る日も来る日も考え、あたる時、相手の立場に立ってみた。「自分が三浦さんならどうするか」

イチ、ニ、サンのタイミングで初球のまっすぐを狙うのは、いかにも自分らしい。直球は捨てた。カーブやフォークはどうか。どちらもワンバウンドのボール球になるケースがある。消極的だ。エースとして1年の1球目には選びづらい……。そうやって絞り込んだのが、外角から入ってくるスライダー系の球種。待っていたその球が来た。

試合後の三浦は「振ってくるとは分かっていたけど、ストライクから入りたかった」。一方の高橋はこう述懐する。「結果が逆なら1年のどこかでつまづいていたらと思う。良い方に出たから全てかみ合ってくれた」。意地や責任感が交錯した勝負を制した初球打ち。この年、打率3割8厘、35本塁打で5年ぶりのリーグ制覇に貢献。初球の打率は4割4分1厘を記録した。

(小金沢智、敬称略)

開幕戦の初回先頭打者本塁打

1955年	金田正泰 (阪神)
62年	桑本武彦 (阪急)
71年	三村敏之 (広島)
73年	小川亨 (近鉄)
92年	佐々木誠 (ダイエー)
2007年	高橋由伸 (巨人)
1954年	レイズ (阪急)
56年	与那嶺要 (巨人)
61年	近藤昭仁 (大洋)
63年	広瀬叔功 (南海)
70年	山崎裕之 (ロッテ)
85年	石毛宏典 (西武)
89年	高橋慶彦 (広島)
91年	前田智徳 (広島)
97年	立浪和義 (中日)
2000年	秋山幸二 (ダイエー)
03年	清水隆行 (巨人)
11年	マートン (阪神)

※は初球 ※所属球団名は当時を含む

メダル見据え 日々発見



昨年のパラ陸上世界選手権（ドバイ）の男子走り高跳びで、銅メダルを獲得した鈴木徹

パラ陸上男子走り高跳び

鈴木徹

40（S M B C 日興証券）

5/13 経ま

アスリートは
いま

トレーニングを兼ね、自宅の庭で子供2人とバスケットボールをする時間が増えた。（走りながらのレイアップシュートは高跳びに生かせる動きだし、この年

齢でも新しい発見がある。選手にとって苦しい状況が続くが、障害を克服したパラアスリートらしく、前を向く強さは変わらない。ハンドボールで団体の山梨県代表になるなど、高い運動能力を持っていたが、18歳の時に交通事故で右脚の膝から下を切断。リハビリ

りがきっかけて始めた走り高跳びですぐに国内トップに立った。夏季パラリンピック5度出場など競技人生は20年に及ぶが、この間様々な浮き沈みを味わった。つらかったのは2008年北京大会前だ。実力と実績を賣われ、当時珍しいプロアスリートとして活動して

いたが、スポンサーのIT企業が突如、経営破綻。支援を失ったため、大会が近づくと、数か月間、練習の間に宅配便の会社で仕分けのアルバイトをした。看護師の妻らに支えられ、同大会では選手団の旗手を務めるなど、日本の顔として戦

い抜いた。

そんな鈴木にとっても今回、調整は想像以上に難しい。東京大会代表の内定は維持——との方針は示されたが、国内外の大会はすべて中止や延期となり、本格的な再開のメドは立っていない。だが、あくまで目指すのはパラリンピックでまだ手にしていない金メダルだ。そのために「今は長いオフシーズン」と、気持ちを上げすぎず、体力向上やフォーム、義足の改良に腰を据えて取り組んでいる。

近年、パラアスリートへの注目が集まり支援も増えるなど、「まるでパラリンピックバブル」（日本パラ陸連幹部）と言われるような中で決まった大会延期。「突然の支援打ち切りや来年の資金で不安を抱える若手もいるはず」と後輩や仲間にも思いをはせる。ペテランとして請われればいつでも、助言を送るつもりだ。

（畔川吉永、写真も）

すずき・とおる 1980年生まれ。山梨県出身。筑波大大学院出。夏季パラリンピックは2000年シドニー大会から5大会連続出場し、12年ロンドン、16年リオデジャネイロ大会で4位入賞。2年02の日本記録保持者。義足T64クラス。1年79、63cm。

プレーバック 開幕戦

投打の二刀流はここから始まった。2013年3月29日の西武ドーム。大谷翔平は日本ハムの高卒新人として、1959年の張本勲(当時東映フライヤーズ)以来となる開幕スタメンを果たした。「8番・右翼」の18歳はここで、鮮烈なデビューを飾る。

西武のエース岸孝之(現楽天)相手に、抜群の対応力を見せた。三回のプロ初打席は内角直球に手が出ず、見逃し三振。「少し落ち込んだ」と言うが、五回の第2打席できっちり修正する。今度は同じ内角直球を腕をたたんで引っ張り、プロ初安打となる右翼線への二塁打を放った。六回二死からは、初球の外寄りチェンジアップにうまく合わせて右前適時打とし、初打点をマーク。2安打1打点と好スタートを切った。

「二刀流」鮮烈デビュー



5回無死、プロ初安打となる2塁打を放った大谷(2013年3月29日、西武ドーム)

「良いゲームだった」とは言いけど、たいしたもの笑顔の新人に、「褒めたくだ。1本打つのがこれほど

西武―日本ハム(2013年3月29日)

日本ハム5―3西武 日本ハムは同点で迎えた六回、大引、大谷の連続適時打で2点を勝ち越し。6投手の継投で逃げ切った。大谷はその後、投手として5月23日にプロ初登板初先発を果たし、6月1日の中日戦で5回3失点にまとめ、初勝利を挙げた。

大変な世界でね」と監督の栗山英樹は脱帽。さらに、「一番良かった」と守備でも感心させられた。

七回、一塁側ファウルゾーンに上がった打球を諦めずに追いかけて、フェンス際でグラブを伸ばし、もぎとった。大谷は西武ドームでプレーするのが初めてだった。前日の全体練習には参加せず、千葉・鎌ヶ谷での二軍戦に投手として登板していたからだ。目まぐるしく状況が変わる中で臨んだデビュー戦だけに、なおさら野手としての総合力の高さも見せつけた。

公式戦で外野の守備に付いたのは、プロ2年目まで。本職ではなかったが、どんな場面でも献身的な姿勢を買った。肩や肘など体の負担への配慮から、投手としては登板間隔を長めに空けた。

◆日本ハムの2013年開幕オーダー

1	中	陽	陽
2	(二)	西川	
3	(三)	小谷野	
4	左	中田	
5	(一)	福葉	
6	捕	アブレイユ	
7	遊	大引	
8	右	大谷	
9	捕	鶴岡	
	投	武田勝	

◆大谷の日本ハム時代の成績

年度	【野手】				【投手】			
	試合	安打	本塁打	打率	登板	勝	敗	防御率
2013	77	45	3	.238	13	3	0	4.23
14	87	58	10	.274	24	11	4	2.61
15	70	22	5	.202	22	15	5	2.24
16	104	104	22	.322	21	10	4	1.86
17	65	67	8	.332	5	3	2	3.20
通算	403	296	48	.286	85	42	15	2.52

つつ、外野を守れば矢のような好返球を連発。「投手をやっている自分の持ち味です」と、事もなげに話しながら周囲の度肝を抜いた。

現在、エンゼルスで右肘手術から2季ぶりの投手復帰を目指す。新監督の就任で、野手としての起用法も変わる可能性が出てきている。二刀流はもともとだが、体調が許すなら、外野で躍動する姿をメジャーでも見てみたい。

(林宏和、敬称略)
(おわり)

プロ野球の開幕は6月中旬以降とのことで、選手の勘が鈍ってしまう、と不安なファンもおられるだろう。

だが、心配無用。彼らはプロ。もともとの開幕日だった3月20日に向け、体は仕上げたはずだから、投手ならシーズンの登板間隔に合わせて調整していくだけ。各球団のエース級は「いつでもいらつしやい」といって気持ちだろう。生きた球を打てない打者は、しんどいかもしいないが、どの球団も同じ条件だ。焦ることはない。

今、特別にやることがあるとすると、コロナ時代の野球

悠々球論

権藤博

に向けた心の準備だろう。感染リスクを抑えることなどを考えれば、試合時間の短縮はより重要になる。そこで思い出したことが一つある。中日の大先輩でもあった坪内道典さんから聞いた話だ。

によると、当時、断然の人気を誇っていた学生野球との違いを打ち出すために掲げたのがスピードだった。プレートの速さと、迅速な試合進行。そんな原点があるプロ野球に時短ができないはず

時間短縮 格好良さから

草創期のプロ野球は学生野

球に対抗し「スピードでお客を呼ぼうとした」とのこと。

外野手の坪内さんは守備がまべんちに戻ったという。こ

坪内さんは今のプロ野球が立ち上げられた1936年からプレーし、48年にはプロ野

球初の通算1千安打を達成した。そんなプロ野球史の証人

いてあっても、プロなら邪魔にはならない。

思い起こせば、私がプロに入ったころも、一塁手は守備が終わると、ファーストミットをコーチスボックスに置いて帰っていた。攻撃中は一塁コーチャーが尻のポケットに入れておき、チェンジになると一塁ベースの上にポン。プロは格好いいなあ、と思ったものだった。

それだけみれば時短効果もたかが知れたものだが、一事が万事。プロとしての格好良さを追求していけば、自然に時間は短くなる。

(野球評論家)

「力士の不安取り除く」

国内スポーツ団体初

大相撲抗体検査

日本相撲協会が、力士、親方に加え、裏方を含めた全協会員約10000人を対象に、新型コロナウイルスの感染歴を調べる「抗体検査」を行うことが決まった。国内のスポーツ団体では初となる大規模な検査実施となる。相撲協会の芝田山広報部長(元横綱大乃国)は「団体生活や稽古を行ううえで、不安を取り除くことができる。本場所開催への対策に役立てたい」と狙いを説明した。

〈本文記事1面〉

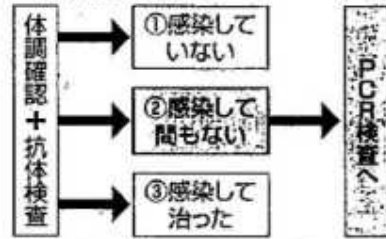
相撲協会によると、力士、親方、行司、若者頭、世話人、呼び出し、床山の全協会員が対象。45ある全相撲部屋には通知済みで、部屋ごとに希望者を募って来週

以降、検査を開始する。検査は専門機関の医師らが各部屋を訪れて実施する。毎日朝と晩に義務づけている検温など体調のデータとともに検査結果から、▽感染していない▽感染して間もない▽感染して治ったという区別をつけるという。「たんやせきが出て、もしかしたら自分もコロナウイルスにかかっているのではないか」という不安は誰でもあると思う。検査で判別

◆新型コロナウイルスを巡る角界の動き

3月11日	臨時理事会で春場所の無観客開催を決定
8日	無観客で春場所が始まる
22日	春場所千秋楽。期間中に感染者は確認されず
4月8日	臨時理事会で夏場所、名古屋場所の2週間延期を決定
10日	三段目の勝武士の新型コロナウイルス陽性が判明。角界初。当初しこ名などは非公表
25日	高田川親方、十両白藤山ら6人の感染を発表
27日	夏場所の番付発表
30日	高田川親方、白藤山らの退院を発表
5月4日	夏場所の中止、名古屋場所は無観客で東京開催の方針を発表
13日	勝武士が多臓器不全で死亡

◆日本相撲協会の抗体検査の流れ



できるのは大きなメリット」と芝田山広報部長は効果を期待する。協会は3月の春場所(大阪)は無観客で実施したが、緊急事態宣言の延長を受け、5月の夏場所(両国国技館)を中止した。7月場所は会場を名古屋から国技館に移し、無観客での開催を目指す考えだ。

協会内ではこれまで高田川親方(元関脇安芸乃島)ら計7人の感染が確認された。抗体検査は精度の面で課題を残すものの、微量の血液を採取して短時間で調べられ、感染状況の把握に役立つとされる。広報部長は「検査をすることで状況が色々と見えてくるのではないかと。結果を踏まえ、専門家からも指摘していた」と話す。検査によって日常生活や稽古をするうえで不安を拭き、今後の対策を講じる方針だ。

抗体検査は欧米を中心に取り入れる動きが広がる。スポーツ界では米大リーグの各球団が協力し、4月中旬に球団従業員ら約5700人が受けた事例がある。

選球眼

浜田昭八

「塾銀座」といわれるほど学習塾が多い町に住んでいる。夕刻になると小、中学生であふれるが、このところ3密を避けるための休業で静まりかえっていた。学習を塾に任せきりだった家庭では、にわか自主学习で混乱したことだろう。

この事態にどう対応したかで差がついたのでは

ないか。揺れ動く状況に振り回されないように、だれもが苦勞したことだろう。それは別として、

「コロナ禍休止に追い込まれたスポーツ界は、再開に向けて差がつかぬ準

「自主トレ」の差見えてくる

備に怠りはなかったか。

プロ野球12球団の自主トレは、さまざまな形で進められてきた。小人数にグループ分けをして、時間差で練習するのが主流だった。開幕は6月後

半以降になりそうだが、まだ不透明。練習は緊急事態の継続、解除のテンポに合わせるしかない。

「コロナ禍休止に追い込まれたスポーツ界は、再開に向けて差がつかぬ準

え、紅白戦や練習試合で

あつただろう。いざ全員

が再集合してチームプレーの練習

をしよう。自主練習で、

過ごしてきたかどうか。3密を避けるため、取材にも自粛が求められた。見守る目が少ないと、単調で面白くない体幹トレなどで手を抜くこともあつただろう。

いざ全員が再集合してチームプレーの練習をしよう。自主練習で、

2月のキャンプ、3月

のオープン戦でせっかく

磨いた体も技も、少し鈍

っただろう。自主練習で、

1にとらわれず、体ができていない選手は容赦なくB班(2軍)へ送られた。「ちゃんと準備していないのは、チームメイトに対して失礼だ」

2月のキャンプ、3月のオープン戦でせっかく磨いた体も技も、少し鈍っただろう。自主練習で、

どれだけキープしたかが

明暗を分ける。日程は厳

しく、スタートダッシュ

が勝負のカギになりそう

だ。さて真面目に過ごしたのはだれ、どこ？
(スポーツライター)